



“いますぐにできるDX”
avatar DX

newme活用イメージのご紹介
～アバターロボットで実現するDX～

人手不足やリモートワークで 業務上、こんなことにお困りではありませんか？

業界的に人手不足で
人材が足りない

スキルをもつ人材の知見が必要
(ただし人材のいる拠点が限られている)

管理拠点多く、マネジメントに
移動時間とコストがかかる

定期的な現場確認作業が
発生する

必ず人がリアルに介在しなければ
いけない業務がある

newme



動くことができないオンライン・コミュニケーションツールでは対応が難しい。
もし自分の分身がいま必要な場所に遠隔で存在できるとしたら、すぐに解決できる
のに…

アバター技術（遠隔存在伝送技術）が搭載されたアバターロボット「newme（ニューミー）」なら、
アバターに入る人間の「意識・存在感」や「スキル・価値」を瞬時に伝送。人手が足りない場所へ、技術
が必要な場所へ、遠隔からnewmeを通じて業務やサポートをすることができます。

動きまわって、人のスキルや価値を現場に伝送することができるので、**人材リソースの有効活用**や**必要な技術のスキルシェア**など、**その人にしかできない業務**を遠隔から行うことが可能となります。

- 操作者の顔を持ったロボットが自由意思で動き、「人の意識・存在感」と「人のスキル・価値」を伝送する
- newmeに接続するだけで、リアルな現場（オフライン空間）を即オンライン環境へと進化させる

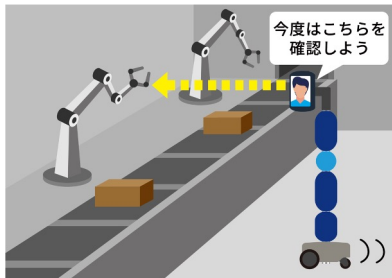
newmeの独自価値

「人の意識・存在感」＋「人のスキル・価値」



人間の存在感を身近に
感じさせることができる

表情やしぐさ、動作などの人間ならではの存在感を伝えることができるため、おもてなしや商談などで活躍が見込めます。



人間のスキルや経験に
基づいて自由に行動できる

操作者の知識やノウハウを活かして、自由に動けるから、その人にしかできないコミュニケーションや作業が可能になります。

ビジネスにもたらす効果

- ✓ 目的によって使い分けが可能、
遠隔での対応業務の幅が広がる

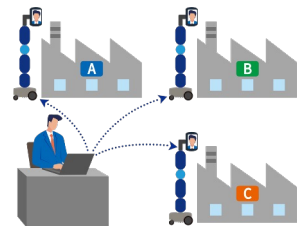
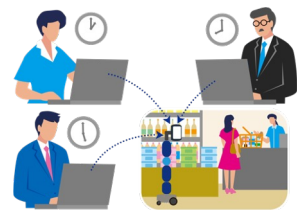
時間帯でnewmeに入る人間や目的を変えることで、マルチユースに活用できます。

- ✓ 複数拠点の対応が可能、
業務の移動コストを大幅削減

インターネットでいつでも複数拠点の視察や見回り・管理が可能になります。

- ✓ 人材リソースを最大限活用できる

専門知識や高いスキルを有する人間が所在地にかかわらず、全国どこでも活躍することができます。



いますぐにできるDX “アバターDX”

アバターロボット「newme」は電源を入れてネットワークに繋がれば、すぐに使用可能になります。
マルチユースなので、1台でいろいろな業務課題に対応します。

アバターDXを有効活用する6つのキーワード

1

瞬間移動



身体を移動させずに遠隔地で自由に活動できるため、移動時間を節約できる。

2

自由視点



動くカメラとして、自由に視点やアングルを変えて遠隔地のモノを見ることができる。

3

応答不要



電話やWeb会議システムの様な相手の応答が必要なく、人の手を借りずにアクセスできる。

4

セキュリティ



立入制限エリア内をアバターで行動することで、物理的な空間に入る人を制御できる。

5

現場介入



現場で起きている出来事に対して、意思をもって能動的に関与することができる。

6

偶発性



偶然の出会い（セレンディピティ）を生み出すことで、新たな価値や創造の機会を作ることができる。

1 瞬間移動 | 身体を移動させずに遠隔地で自由に活動できるため、移動時間を節約できる。



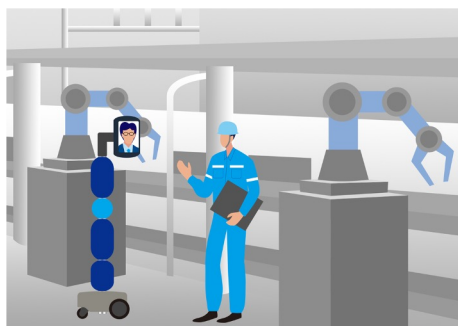
CASE1 流通・小売業など 複数店舗にわたるエリアマネジメント業務を効率化できる！

【課題】

担当エリアの現場視察のため、頻繁に現場に足を運ぶのが大変。現場視察に一日がかりの日もあり、他の仕事に手が回らない。

【解決策】

24時間いつでも店舗にアクセス可能に。移動コストの削減はもちろん、移動時間を別の業務に充てられるため、業務効率が向上します。



CASE2 製造業など 地方にある工場への視察（見学）や立ち合いが簡便化できる！

【課題】

地方に工場があるため、いざ本社社員が工場を視察したり、立ち会いしようとする、かなりの時間を消費してしまう。

【解決策】

アバターがあれば、役員の視察や社員の現場立ち合いはもちろん、外部のお客様を立地に関係なく、工場見学にも招待することができます。

2 自由視点 | 動くカメラとして、自由に視点やアングルを変えて遠隔地のモノを見ることができる。



CASE1 文化施設など 館内を自由に動きながら色々なアングルから作品を鑑賞できる！

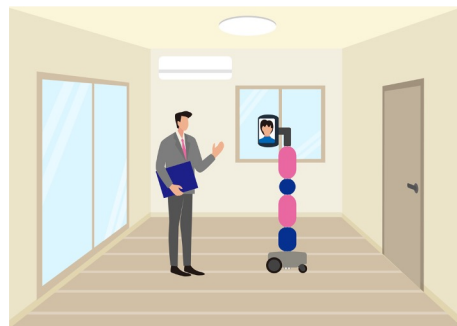
【課題】

限定客にオンラインツアーを行っているが、参加者は受け身で、自らの感覚をもって作品を鑑賞することができないため、質の高い鑑賞体験にならない。



【解決策】

アバターなら自由に館内を動いて気になった作品を好きなアングルから鑑賞することができるため、鑑賞体験が自分のものになりやすい効果が得られます。



CASE2 不動産業など さまざまな視点から物件の間取りや設備を確認できる！

【課題】

物件の内覧や住宅展示場の見学にお客様を案内したいが、時間の都合がなかなか合わず、案内することができない。



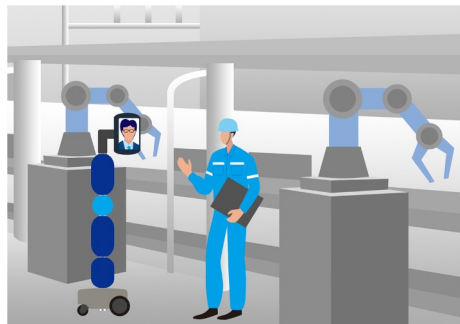
【解決策】

「興味はあるけど現地に行くのは大変」というお客様も、自宅にいながらにして部屋の隅々まで内覧することができます。

3

応答不要

電話やWeb会議システムの様に相手の応答が必要なく、人の手を借りずにアクセスできる。



CASE1

製造業など

現場でのアクシデント発生時にすぐさま状況を確認できる！

【課題】

自然災害などの想定外のアクシデントが発生した際、現場が対応に追われており、被害状況を確認することができない。



【解決策】

BCP（事業継続計画）の観点から、自然災害や火災などの緊急事態発生時、現地の様子をいち早く確認できます。



CASE2

医療・介護など

患者さんのご家族がいつでもお見舞いすることができる！

【課題】

タブレットなどのお見舞いシステムを使っているが、寝たきりの患者さんは体調次第でシステムを扱うことができない。



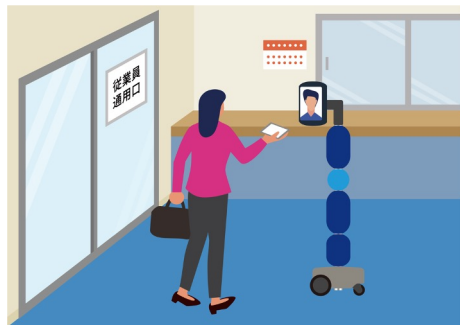
【解決策】

アバターならいつでも病室を訪れることができ、アクセス時も人の手を借りる必要がないので、寝たきりの患者さんに負担をかけることもありません。

4

セキュリティ

立入制限エリア内をアバターで行動することで、物理的な空間に入る人を制御できる。



CASE1

製造業など

入退出管理を効率化するとともにセキュリティも高められる！

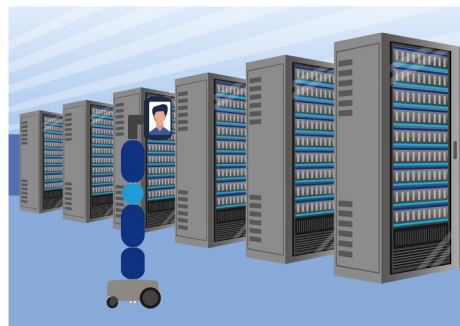
【課題】

セキュリティエリアの入退出ごとに、セキュリティチェックを行う必要があり、入退出の管理にかなりのリソースをかけている。



【解決策】

セキュリティエリア内の活動をアバターに一部移行することで、入退出の管理負荷が減り、ログもしっかりと記録できます。



CASE2

警備など

遠隔から人の目の監視を入れることができる！

【課題】

高いセキュリティレベルの区画を警備強化したいが、警備員を増やすなどの対応をとることができない。



【解決策】

アバターは人の顔が映るため、犯罪の抑止効果が高いと言われ、異常を検知した際、すぐに現場にも急行できます。

5 現場介入 | 現場で起きている出来事に対して、意思をもって能動的に関与することができる。



CASE1 コールセンターなど 状況に応じて管理者（SV）がオペレーターをサポートできる！

【課題】

オペレーターが対応しきれない質問やクレームの二次対応ができる管理者（SV）が人手不足でお客様をお待たせしてしまう。



【解決策】

SVがコールセンターの状況を遠隔からモニターし、現場の状況を把握しつつも、必要に応じてオペレーターをタイムリーにサポートできます。



CASE2 製造業など ハイスキルを持つ技術者の人材リソースを有効活用できる！

【課題】

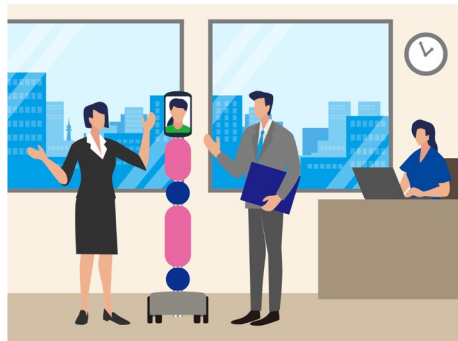
点検やメンテナンス作業を実施できるハイスキルな技術者の数が少ないため、限られた作業ボリュームしか処理できない。



【解決策】

遠隔から点検やメンテナンス業務を実施できるため、1人の技術者がアバターを介して複数の現場で点検業務を実施できます。

6 偶発性 | 偶然の出会い（セレンディピティ）を生み出し、新たな価値や創造の機会を作ることができる。



CASE1 オフィスなど リモートでありながら業務外のコミュニケーションを生み出す！

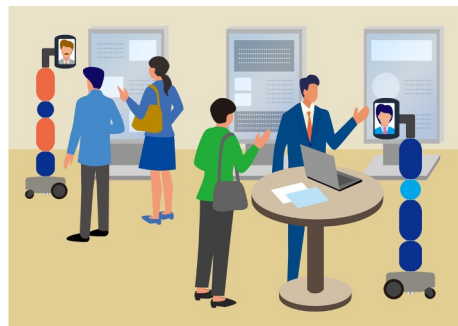
【課題】

コロナ禍で社員間のコミュニケーションの場が減ってしまい、人間関係が希薄になったと感じる。



【解決策】

予め決められたWeb会議システムとは異なり、予期せぬ偶発的なコミュニケーションが生まれやすく、仕事にも活きるインスピレーションが得られることがあります。



CASE2 ビジネスイベントなど ネットワーキングに参加し、人脈を広げる交流ができる！

【課題】

コロナ禍以降、MICEへのオンライン参加が増加したが、一方で参加者同士の対話や名刺交換等ネットワーキングの場が失われた。



【解決策】

アバターを通じてネットワーキングの場に参加し、そこで得た交流や繋がりを今後のビジネスに活かすことができます。

アバター導入プラン（レンタルプラン）

業務利用を目的として newmeをご利用いただける法人様向けプラン。専用アカウントが発行されログインすることで、会社や組織など限られたメンバー間でご自由に newmeをご使用いただけます。

業務利用を目的としてnewmeをご利用いただけます。

ご利用の法人様には専用アカウントが発行され、newmeに接続を許可されたユーザーのみがアクセスすることができます。



導入先例：オフィス、ショールーム、病院、学校、多拠点の店舗、工場など

【月額基本プラン】

1

newme本体・
機器付属品
レンタル

+

2

avatarin
プラットフォーム
利用

1台あたり
月額 **99,800円**（税別）

利用期間 **6ヶ月契約**

契約自動更新 **6ヶ月単位**

※機器本体および機器付属品のレンタル、ソフトウェアの利用料が含まれます。

※契約期間は納品希望日の翌月1日から6ヶ月間となります。

※返却のご手配及び送料はお客様ご負担となります。

お気軽にお問い合わせください。

avatarin株式会社

ソリューション部
椋木（むくのき）・国府田（こうだ）

メールでのお問い合わせ
biz-event@avatarin.com

